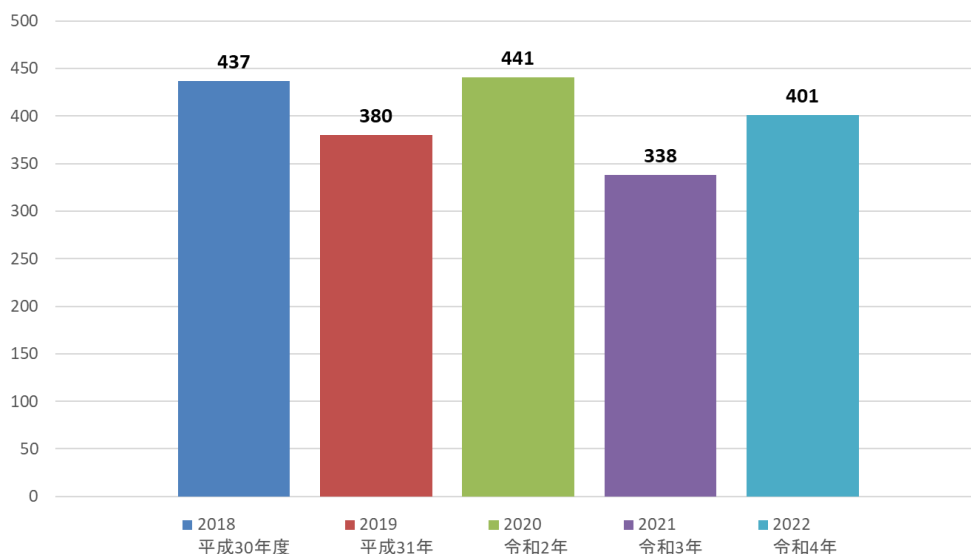


令和4年度の相談概要

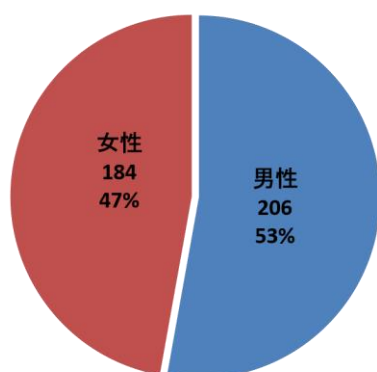
◆年度別相談総件数の推移



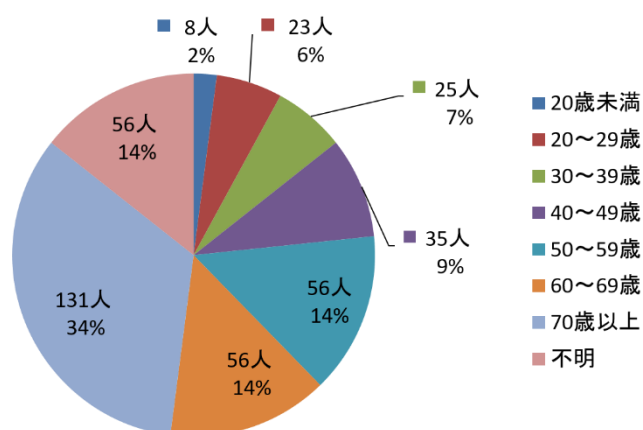
◆2022年度(令和4年度)の相談状況

◀男女別相談状況▶

(※件数には団体が7件、年齢・性別不明が4件含まれます。)



◀年齢別相談状況▶



◀傾向と特徴▶

令和4年度の相談件数は、401件（令和3年度 338件）、前年対比119%で63件の増であった。年齢別では60歳代56人（14%）70歳以上131人（34%）で全体の半数近くを占めている。依然として、高齢者の消費者トラブルが多いことがうかがえる。令和4年4月1日から成年年齢が引き下げられ、センターへの相談件数の増加が懸念されたが、20歳未満の相談件数は昨年度と比較すると微増であった。

相談内容としては、「化粧品等の定期購入トラブルに関する相談」、「クレジットカードの不正利用に関する相談」、「脱毛エステの契約トラブルに関する相談」が目立った。また、昨年度に引き続き、「還付金」に関する相談も見受けられた。

《相談項目の上位》

① 保健衛生品に関する相談

化粧品（定期購入契約）に関するトラブルなど

② 商品一般に関する相談

架空請求・不審な請求・不審な荷物など

③ 保健・福祉サービスに関する相談

還付金、脱毛エステに関する契約など